

19. ハザードマップを活用するには？

先に紹介した「ハザードマップポータルサイト」は、国土交通省・国土地理院が公開しているものです。ハザードマップを活用するには？ まずは事例から学ぶ！ということで、ここでは公開されている事例集を紹介したいと思います。

①「水害ハザードマップの活用事例集」国土交通省 2019

https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/jigyo_keikaku/saigai/tisiki/hazardmap/sankou2_hazardmap_jirei.pdf

②「ハザードマップポータルサイト配信・提供データ活用事例集」国土地理院 2023

<https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/copyright/katsuyoujireisyuu.pdf>

概ね、防災マップ作りや避難訓練、防災教育等の基礎資料としてハザードマップを活用しているようです。上記①の「避難の実効性を高めるための工夫に関する事例」の「現在の河川水位や歴史的な浸水位等をまちなかに表示」と「まるごとまちごとハザードマップ（多摩市）」は、まちななかでハザードマップを「リアルに感じる！」活用例です。下記にその写真を示します。



- 👉 荒川河川水位をリアルタイムに表示
電光掲示板「現在の荒川の水位→」
過去の洪水時の荒川の水位を表示
大正6年の最高・・・など
(東京都江戸川区役所前)



- 👉 電柱に想定浸水深と避難場所等を表示
(多摩市)

事例集①②のリンクを青文字で貼りました。興味を持たれた方は是非！



まとめ：自分自身の事として、知ること、学ぶこと、使うこと。地域の安全と発展のために、訓練すること、連携すること、工夫すること、利用すること。がハザードマップの有効活用につながりそうです。